

### 【研究課題の名称】

COVID-19 患者に対する未承認薬の使用

### 【研究の目的及び意義】

当院は、COVID-19確定の入院症例において感染症指定医療機関へ転院調整することとしている。しかし、本症の中に転院ができず治療せざるを得ない状況が発生した場合に、診療体制を確保することが必要となる。現在治療に用いられる薬剤の大半が未承認薬、適応外使用の薬剤となっているが、日本感染症学会などの専門団体から報告のあるCOVID-19に効果があるとされる抗ウイルス薬等をCOVID-19患者に処方することは、同ウイルス感染症への臨床対応を考慮すると、非常に有用性が高いと考えられる。

### 【研究対象者の選定方針】

日本感染症学会「COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第3版」に準じ以下のように定める。

1. 概ね 60 歳未満の患者では肺炎を発症しても自然経過の中で治療する例が多いため、必ずしも抗ウイルス薬を投与せずとも経過を観察してよい。
2. 概ね 60 歳以上の患者では重篤な呼吸不全を起こす可能性が高く、死亡率が高いため、低酸素血症を呈し継続的な酸素投与が必要となった段階で抗ウイルス薬の投与を検討する。
3. 糖尿病・心血管疾患・慢性肺疾患・悪性腫瘍・喫煙による慢性閉塞性肺疾患、免疫抑制状態等のある患者においても上記2に準じる
4. 年齢にかかわらず、酸素投与と対象療法だけでは呼吸不全が悪化傾向にある例では抗ウイルス薬の投与を検討する。
5. PCRなどによりCOVID-19の確定診断がついていない患者は抗ウイルス薬の適応とはならない。

### 【研究予定期間】

承認日（西暦2020年5月25日）から西暦2023年1月31日